

**令和5年度西成区運営方針自己評価
説明用資料**

**令和6年度西成区区政会議
第1回こども部会
令和6年6月14日**

令和5年度 西成区運営方針経営課題における具体的取組

経営課題	主な戦略	具体的取組	部会
①子どもの夢が広がるまち	(1)子どもが健やかに成長できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・西成区こども生活・まなびサポート事業 ・基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール) ・西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾) ・プレーパーク事業 ・障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業 	こども部会
	(2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる		
	(3)親子が安心して暮らすことができるように支える		
②人と人がつながりにぎわうまち	(1)住みたいまち、行ってみたいまちにする	<ul style="list-style-type: none"> ・西成区魅力発信事業 ・地域コミュニティ支援事業 ・緑化推進事業 ・区における人権啓発推進事業 ・西成区地域福祉計画推進事業 ・西成版サービスハブ構築・運営事業 	にぎわい部会
	(2)地域の活動を支えてつながりをつくる		
	(3)誰もが活躍して輝けるまちにする		
③みんなが安心して暮らせるまち	(1)大規模災害等に備えた体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災活動事業 ・防犯対策事業 ・自転車等安全利用啓発事業 ・空家等対策推進事業 ・あいりん地域環境整備事業(巡回・啓発等) ・結核対策事業 	安全あんしん部会
	(2)行政と地域住民が連携して防犯・安全対策を行う。		
	(3)あいりん地域の環境改善事例を広げていく		

経営課題1 子どもの夢がひろがるまち(1)子どもが健やかに成長できるようにする プレーパーク事業

4予算額

11,529千円

5予算額

16,735千円

目的

子どもの生きる力を育む居場所として、子どもがやりたい、遊びたいと思うことを自由にできる冒険遊び場(プレーパーク)を実施

取組実績

令和5年4月～令和6年3月で60日開催、合計来場者数5,149人 1日平均来場者数86人



自己評価 今後の方針

- ・拠点となっていた開催場所での開催中止の影響もあり、1日あたりの平均来場者数は目標としていた120人には届かなかったが、新たな開催場所を確保し開催することができた。
- ・来場者アンケートにおける満足度は100%と非常に高く、同じく区内の子育て環境に好印象をもつ割合も84%と高いことから、結果的に子育てしやすい環境づくりに取り組んでいるというイメージの向上に寄与しているものとする。
- ・新たな利用者を増やすとともにより高い満足度を得られるよう、子どもの学習意欲・関心を積極的に刺激するイベントを開催する。

経営課題1 子どもの夢がひろがるまち(2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

4予算額

186千円

5予算額

251千円

目的

区内小中学生を対象に、中学校校舎等の公共施設を活用して塾等事業者による課外授業(補習)を実施

取組実績

参加登録者数(令和5年度)

小学生:北津守小学校 5名 たちばな会館 6名 玉出老人憩いの家 7名 合計 18名
中学生:鶴見橋中学校 20名 たちばな会館 18名 玉出老人憩いの家 30名 合計 68名

自己評価
今後の方針

- ・参加者へのアンケートで、学力があがったと答えた児童生徒や勉強の仕方が分かってきたと答えた児童生徒の割合75%(目標値70%以上)
- ・7月より実施した小学生を対象とした課外授業は、受講者数が少数であった。今後、学校施設を活用した体験授業の回数を増やし認知度を上げる。
- ・課題のある児童生徒が安心して参加できる居場所であり、また、学習への定着が苦手な児童生徒への対応として個々の習熟度に合わせた学習内容を継続して取り組む。



経営課題1 子どもの夢がひろがるまち(2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

4予算額

7,744千円

5予算額

8,332千円

目的

区内小学校全10校で、3・4年生を対象に、夏休み・冬休みや平日の放課後を利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施

取組実績

年間45時間を実施。うち、前期(6~8月)20時間(夏季休業中を中心に実施)後期(9~2月)25時間(放課後の時間・冬休みを中心に実施)。参加者は前後期で合計257名。



自己評価 今後の方針

- ・授業初回と最終回にテストを実施し、点数が上昇する児童の割合77%(目標値70%以上)
- ・学力に課題のある児童など、対象者の参加をさらに増やすため、募集時期に体験会を実施するなど周知を強化。
- ・児童の学力に合わせた支援をするため、児童生徒の習熟度に合わせた教材や指導員の配置を行う。

経営課題1 子どもの夢がひろがるまち(2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる 西成区こども生活・まなびサポート事業

4予算額

69,374千円

5予算額

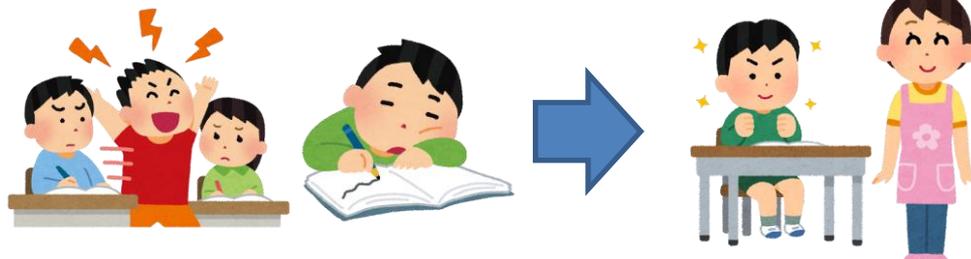
82,485千円

目的

サポートが必要な児童生徒に対して、寄り添い型の支援(遅刻・不登校の対応、学習姿勢を向上させるための支援等)を行うサポーター等を配置し、学びの場への定着を図る

取組実績

- ・児童生徒や学校の実情に合わせて、電話や家庭訪問などにより児童生徒の登校支援等を行った。
- ・幼稚園・保育所等と小学校のギャップから授業に集中できない児童に対し、寄り添い支援を行い、担任の話を集中して聞けるよう学習に向かわせるためのサポートを行った。



自己評価 今後の方針

- ・不登校在籍率の伸びを抑制し、年々大阪市平均に近づきつつある状況である。
- ・座って学習する、学習活動に参加するなど、児童に学習姿勢の改善も見られており、着実に定着が進んでいる。
- ・**「不登校の実質ゼロ」をめざし、こども生活・まなびサポート事業を拡充する。**
- ・学習に向かえるように支援する支援員を区内の全小学校に拡充し、配置する。(学習姿勢向上)
- ・教室に入りづらいこどもたちを丁寧に支援するための部屋を区内の全中学校に整備。専任のサポーターや教職員が、こどもたちの支援を行う。(居場所支援)

経営課題1 子どもの夢がひろがるまち(3)親子が安心して暮らすことができるように支える 障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業

4予算額

7,011千円

5予算額

7,093千円

目的

精神疾患や知的障がいがある子どもまたは親を支援機関等につなぐことによって虐待防止を図る

取組実績

対象者:令和2~4年度に必要な支援につながっている状況が把握できた世帯及びアウトリーチを行い支援機関等への繋ぎ等ができた世帯499世帯

①家庭訪問及び相談支援:

必要な支援に繋いだ後も安定して繋がりを維持できるよう支援した世帯33%

②連続講座:令和5年度実績9人

③言語聴覚士による専門相談:令和5年度実績28人(相談回数47回)

④助産師による専門的家庭訪問支援:令和5年度実績13人



自己評価 今後の方針

- ・安定した繋がりを維持できるよう支援する世帯を令和5年度から3年で100%とする目標は達成した。
- ・相談支援等の実施により孤立化を防ぎ、家庭に引きこもらないよう取り組みを実施できた。
- ・引き続き事業を実施することにより、親の不安やイライラを軽減し虐待予防を図る。
- ・新規手帳取得者及び転入者に、専門相談の紹介や気軽に相談できる窓口の紹介などの支援を実施する。